

令和4年3月1日 作成

農業クラブ 全国大会号

令和三年十月二十七日から二十八日の二日間兵庫県にて日本学校農業クラブ全国大会が行われました。

本校からは農業鑑定競技に各学科一名ずつクラブ員代表者会議に一名、代議員会に一名の合計五名が参加しました。

今回の新聞では大会に出場した生徒にインタビューを行ったので是非来年度の参考にしてみてください。



兵庫大会マスコットキャラクター
「たまもー」

Q1.全国大会にいった感想

Q2.来年へのアドバイス

代議員会出席 園芸科学科3年生

A1.私は今回、初めての全国大会だったことや、日本学校農業クラブ連盟会長代理としての参加だったこともあり、最後まで緊張し続ける三日間でした。けれど、今までオンラインでしか顔を合わせたことのない全国の理事の方々と実際に会い、話すことができよかったです。各都道府県により異なる農業についてや自分が行っている課題研究の内容、将来の夢など様々なことを語り合うことができ、充実した三日間を過ごすことができました。

A2.まだ新型コロナウイルスの脅威が去ったとは言えませんが、来年度へと向けて全国大会の企画・運営は始まっています。是非皆さんも大会への参加を目標に、意見発表やプロジェクト発表、実物鑑定などを含む日々の学習に取り組み、自身の成長に繋げていってください。

クラブ員代表者会議出席 畜産科学科2年生

A1.意見交換をした際に他校は多くのことに取り組み生徒も農業クラブに積極的でしたが、東京都や本校ではまだまだ農業クラブが生徒に浸透していないなと考えました。

A2.来年度は今の一年生が農業クラブの中心になっていくと思います。なので来年は、今よりも成長した姿を他県の農業高校生に発信してほしいです。



農業鑑定競技出場

畜産科学科 3年生

A1.競技自体は同じなのに、学校のテストとは全く違い、重い雰囲気とプレッシャーを感じました。
とにかく緊張の一日でした。

A2.自分が思っている2倍くらい勉強したほうがいいとおもいます。
細かい問題から基礎まで幅広いので抜けがないくらい勉強しないとよい順位は狙えないかもしれません。

園芸科学科 2年生

A1.全国大会の実物鑑定競技へ行って、改めて全国大会はレベルが高いと感じました。
優秀賞を取ることはできませんでしたが、他県のクラブ役員とも交流ができ、とても良い経験になりました。

A2.出題範囲がとても広く短期間で勉強することができないので、何ヶ月も前からコツコツと勉強を続けて、わからないところを無くしていくことが重要だと思います。

食品科 3年生

A1.会場の雰囲気は写真で見た想像上のものとはるかに比べ物にならない圧と活気で包まれていました。
会場に大人の姿はほとんど見えなく、ほぼすべての運営が高校生で回っていました。緊張はしていませんでしたが、不思議と楽しさもあり、とても良い経験ができたと思います。

A2.実際に行くと、プロの人達の中に放り出されたような気持ちになります。ですが、今まで自分がやってきたことは絶対に無駄になりません。とにかく、自分を信じて挑むことが1番の攻略法だと思います。沢山楽しんできてください。

